

平成 20 年度(2008 年度)

吹田市立図書館の基本方針と目標

1. 基本方針

吹田市立図書館は、「ユネスコ公共図書館宣言」などに謳われた、公立図書館の理念のもとに、ひきつづき図書館利用不便地域の解消に努めながら、必要な資料を「いつでも どこでも だれでも」利用できる、市民本位の図書館サービスを行なうと共に、多様化する市民一人一人の生涯学習を支援する中核施設として、また、市民の生活に密着した地域の情報センターとして、市民との協働や学校との連携、また情報の受発信などを通じ、地域コミュニティの活性化や地域文化、教育力の向上などに資する図書館事業の展開を図ります。

2. 運営方針

(1) さがしものは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたが欲しい資料を必ず見つけます。

(2) 知りたい事は何ですか。

吹田市立図書館は、あなたの疑問に必ず答えます。

(3) 困っていることは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたの生活をサポートする情報を必ず提供します。

(4) やりたいことは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたのヤル気を必ず応援します。

(5) 地域資料の収集と活用に努め、必ずまちづくりに貢献します。

3. 主な事業計画

(1) 山田駅前公共公益施設における図書館整備の検討

(2) 千里図書館の再整備の検討

(3) 千里丘地域や図書館利用不便地域における図書館整備の検討

(4) 開館日、開館時間の検討

(5) 大学図書館や類縁機関との連携

(6) 小学校や地域団体との連携

(7) 子ども読書活動推進計画の推進

(8) メール・マガジンの発行やレファレンスのデータベース化の検討

(9) 障害者サービスの充実

(10) ボランティア人材の育成と市民との協働の拡充

(11) 図書館講座の充実

(12) 図書館 P R の充実

(13) 貸出冊数の目標値設定

4. 吹田市立図書館各館別運営方針

〔中央図書館〕

吹田市立図書館の中心館として「暮らしの中に役立つ図書館」を基調に、全分野の出版物を網羅的に収集すると共に、図書館利用不便地域等に自動車文庫を配置し、インターネットを活用した情報の受発信を通じ利用者と情報の相互交流を図ります。また、多様な年齢層に向けた様々な講座の展開、レファレンスサービスや郷土資料の充実、学校や関連施設との連携を深め、唯一自習室のある図書館として、市民との協働を図りながら、より多角的で幅広い図書館サービスの展開を目指します。

〔北千里分室〕

北千里地区公民館内にある地域密着型の駅前図書館として、主に高齢者と子どもたちに重点を置き、暮らしに役立つ図書館サービスの展開を目指します。

〔千里図書館〕

千里ニュータウン地域の図書館サービスの中心をなす館として、市民一人一人の多様化する生涯学習を支援するとともに、国際交流協会や留学生会館とも連携し、外国語の資料の収集のほか、生活情報、地域文化理解のための情報の収集や発信を図り、また、高齢者の方にも配慮した使いやすく居心地のいい図書館を目指します。

〔江坂図書館〕

大阪副都心としてのビジネス街と幼児とお母さんの利用が多い住居地域という職住混在地域にある図書館として、仕事や暮らしに役立つ情報発信に努めるとともに、「江坂ロビーフェスタ」などの娯楽の要素も備えた、利用者と地域の特性に沿った図書館サービスの展開を目指します。

〔山田図書館〕

地区公民館との複合施設という条件を生かし、地域の活発な文化活動や学習活動を資料提供や読書相談を通じてサポートしながら、乳幼児から高齢者の方に対応したきめ細かいサービスを心がけ、また日常生活の問題解決や自己学習の向上に役立つ、地域の方々に信頼される図書館サービスの展開を目指します。

〔さんくす図書館〕

吹田市内各所に通じるバスターミナルを持つJR吹田駅前の図書館として、全市的な利用をふまえた図書館サービスを展開すると共に、2万点以上あるAV資料と視聴ブースや対面朗読室などを活かし、乳幼児から高齢者の方まで対応したきめ細かいサービスを心がけ、また地域にあるさまざまな施設と連携し、地域のまちづくりに役立つ図書館を目指します。

〔千里山・佐井寺図書館(ちさと)〕

障害者サービスの拠点館として、ボランティアの一層の育成・強化に努め、視覚障害者向けの音訳・点訳資料の製作・貸出の増進を図ります。またAV資料の収集、貸出及び高度情報化に対応したサービスの充実に努めると共に、地域住民の交流や創造的文化活動・学習活動等を支援するための多目的室等の開放など、地域に根ざした図書館サービスの展開を目指します。